

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして



新潟県女性センター情報

No.143

2025.12

11/8 SAT

新潟市産業振興センターで開催の「福祉・介護・健康フェア2025」にて、財団では、初の試みとなるマルシェの出店&女性の健康課題セミナーを開催しました。

Report 1



ホール内にて、「女性活躍応援！チャレンジショップ1Dayマルシェ」として、12人の女性たちと一緒にブースを出店。当日は大勢の来場があり、当マルシェも終始、客足が途切れることなく大盛況、お客様からも大変好評でした。

9月～10月には、このマルシェの準備・出店を踏まえた起業セミナーを開催し、その参加者12人がマルシェに出店しました。セミナー終了後には、オンラインによる相談会を行い、開催日に向けてモチベーションを高め、準備を進めることができました。1人でマルシェ当日を迎えるのはとても不安だったと思いますが、今回のセミナーや相談会を通じて、出店者同士のつながりができたことがとても良かったと思いました。



Report 2 女性の健康課題

～知って！試して！考え方～



▲会場の様子/当日は20名の方からのご参加がありました。

2階会議室にて、女性の健康課題をテーマに、セミナーを開催。講演では、ウイメンズヘルスlabの平澤幸恵さんをお招きし、女性の健康問題で起こる経済損失や、ライフステージのホルモンの変化、女性の身体影響や周囲の偏見など職場・家庭における女性の健康について、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの視点を交え、お話をいただきました。その後、株式会社マイナビのご協力のもと、女性の健康課題で一番身近な生理について、ピリオノイドを用いた生理痛を疑似体験し、体験されていた方からは、「こんな痛みを常に伴いながら我慢して仕事することに驚いた」との感想をいただいたほか、今回のセミナーを受け、「自社でも今後同様の研修を行ってみたい」という声もあがりました。

11/4 企業トップセミナーを開催!!

働き方改革の重要性や、県内企業の等身大の事例に触れ、参加者の実践意欲を高める有意義なセミナーとなりました。

朱鷺メッセにて県内企業の経営者等を対象に、「企業トップセミナー～若者や女性に選ばれる企業を目指して～」を開催。講演「業績向上・採用力アップ・女性活躍が実現する！働き方改革」や、パネルディスカッションを行いました。

Report

基調講演は、株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長の小室淑恵さんが登壇し、育児・介護者など特定の人だけを対象とするワーク・ファミリーバランスは、従業員間の不公平感を生み、業績にマイナスとなる可能性があると指摘。その上で全従業員を対象とするワーク・ライフバランスこそが、付加価値の創出やイノベーションの源泉となるインプットの確保と多様な働き手の参画を可能にし、業績にプラスの影響をもたらすと強調しました。

また、現在日本は生産年齢人口の減少に伴い、社会保障などの負担が増す人口オーナス期に移行しており、生産性の向上と多様な人材の活用が不可欠であると指摘しました。

「世界で最も教育され、最も健康な日本の女性を活用しないのは、日本にとって最大の損失である」というメッセージは女性活躍推進が喫緊の経営戦略であることを強く印象付けました。

続くパネルディスカッションでは、山崎醸造株式会社、株式会社テレビ新潟放送網、株式会社DERTAの経営者が登壇。

男性育休100%宣言、カエル会議を通じた業務改善、心理的安全性向の取組など、具体的な実践例や成果が紹介されました。



▲パネルディスカッションの様子／当日はハイブリッドにて開催。150名を超える方からご参加をいただきました。

命を守るために出来ることを学べる
防災カフェを開催しました

今年度は各地域で4回開催。子育て中の親、子育て支援に携わっている方、自主防災組織に所属・活動している方、親子・家族など、様々な方を対象に防災に対して啓発を行いました。

各回にチーム防災代表であり、防災士・子育て防災士である佐竹直子さんを講師にお話を伺いました。

Report 1(五泉) 9/19 月 地域のみんなで考えよう
～小さな命を守るために～ 共催 | NPO法人ピーカブー

Report 2(加茂) 10/11 SAT 誰もが過ごしやすい避難所って何だろう?
災害に負けない加茂を目指して 共催 | 加茂市(地域セミナー)

Report 3(津南) 10/26 SUN もしも...に備えて、何からそろえる?
～非常持ち出し袋を担いでみよう～ 共催 | 津南町(地域セミナー)

Report 4(出雲崎) 10/19 SUN 安心してすごせる避難所のために
共催 | (公社)新潟県栄養士会 ※新潟県・出雲崎町総合防災訓練／資料翻訳

佐竹さんを講師にお招きし、中越地震の被災経験や東日本大震災・能登半島地震などの支援経験から、様々な災害時の備えや避難生活についてお話ししていただきました。

ゲームやグループワーク、ランタンづくりの制作、意見交流を伺いながら、防災について楽しく考える機会となりました。

総合防災訓練では、県栄養士会の展示ブースにて、避難所での性被害や暴力について注意を促す資料を配付しました。また、新潟県防災局 防災企画課から防災リーダー向けに広報協力をしていただき、様々な立場の方が参加されました。



▲五泉市／会場での様子



▲加茂市／会場での様子



▲津南町／会場での様子



▲出雲崎町／会場での様子

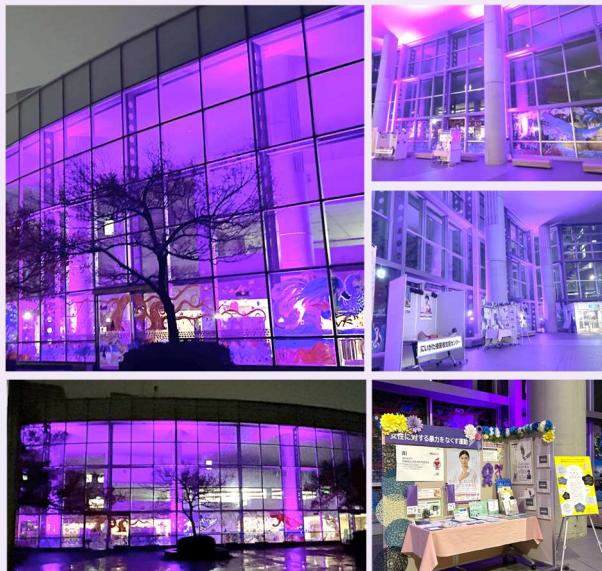
毎年11月12日から25日は
「女性に対する暴力をなくす運動」期間！

期間中、シンボルカラーの
パープル(紫色)にちなんだライトアップやキャンペーンなどが全国各地で開催されます。

女性に対する暴力（配偶者などからの暴力・性暴力・セクハラ・ストーカー等）は、女性の人権を著しく侵害する行為です。
女性財団では今年もシンボルカラーであるパープルリボンの着用を呼びかけるほか、関連する活動を行いました。
女性に対してのあらゆる暴力の根絶を目指し、財団はこれからも活動を続けていきます。

Activity 1

▶ 今年度の様子。ユービン全体がパープルに彩られました。



Activity 2

にいがた女と男フェスティバル2025 関連事業 女性に対する暴力防止セミナー

11/21 FRI 自分らしく生きること～勇気の一歩と支え合い～

今年は「性暴力」にフォーカスをあて、講師に五ノ井里奈さんをお招きし開催。自衛隊時代に自身が経験した性被害やその後の心と体のケア、戦う事を選択した心境(踏み出す事の大切さ)、同じ境遇に苦しむ女性たちへのエール等、“勇気を出すことの大切さ”をお話いただきました。当日は、9市・村でのサテライト会場開設にご協力いただいたほか、県内問わず全国からもお申込があり、沢山の方からご参加いただきました。



◀ 講師の五ノ井里奈さん

アンコンシャス・バイアス解消に向けた
男女共同参画出張講座を開催！

今年度は各地域で3回開催予定。
【予告】2月28日(土)糸魚川市にて、子育ての思い込みや決めつけをテーマに開催します。

男女共同参画において、女だから、男だから…の偏見だけでなく、日常的に誰もが感じるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について、基礎的な内容を伝えていく講座を1回目は新発田市・2回目は村上市で開催しました。

Report 1

みんなで一緒に考え、気づき、話そう

10/18 SAT アンコンシャス・バイアス パネルディスカッション

アンコンシャス・バイアスやジェンダーギャップ／バイアスの問題について、敬和学園の学生による発表や、大学と芸人の関田将人さんで、パネルディスカッション等から、アンコンの捉え方や、変えていくことの大切さを紐解きました。



▲ 新発田市／会場での様子

Report 2

落語五色で学ぶ アンなこと

11/16 SAT

落語家の水都家艶笑さんの落語をとおし、日常の中に潜むアンコンシャス・バイアスへの気づきや意識変容、相手を想い感謝を伝える大切さをお話しいただきました。講演後、「改めて自分や周りを考えるきっかけになった」とのお声がありました。



▲ 村上市／会場での様子

点灯期間 — 11月12日水～19日水 午後5時～9時

展示ブースは11月11日(火)～24日(月・祝) 終日展示

パープルライトアップ×展示ブース

会員情報



お問合せ先

新潟県新潟市中央区鳥屋野453番地34

📞 025-284-4021

🌐 <https://www.primtec.co.jp>



働く女性支援事業 キャリア開発・スキルアップセミナー

[会場] 新潟県女性センター 女性団体交流室2
[対象] テーマに関心のある方（※男性も参加可能）
[定員] 各回20人（先着順） [参加費] 各回 3,000円

会場開催 12/20 SAT 13:30 ~ 16:30 部下の成長を支援する
ネガティブフィードバック
講師 | 丸山 結香 さん
(有)MAX ZEN performance consultants代表取締役

オンライン 1/17 SAT 13:30 ~ 15:30 これから世代に求められる、思いやりと共にリーダーシップとは
サーベント・リーダー 基礎セミナー
講師 | 長浜 洋二 さん
(モジョコンサルティング(同) 代表)

オンライン 2/1 SUN 13:30 ~ 15:30 「主体性の高いチーム」を育てる
コミュニケーション促進講座
講師 | 鬼頭 久美子 さん
(サイボウズ㈱ チームワーク総研 コンサルタント)

会場開催 2/22 SUN 13:00 ~ 16:30 議論と対話を促進する
ファシリテーションのコツ
講師 | 山田 真司 さん
(シーズ・オブ・モチベーション 代表)

【予告】3月7日(土) 13:30~16:00 働く女性支援事業関連セミナーを開催。詳細につきましては、No.144(2月発行予定)に掲載します。

編集・発行



公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ2階/新潟県女性センター



HP



FB



X (Twitter)

プライムテック 株式会社 PRIME TEC

— 女性の活躍が企業と地域を元氣にする —

当社は、新潟市中央区に本社を構え、電気・電気通信工事を通じて地域と社会インフラを守る仕事に取り組んでいます。数年前から、財団が実施するセミナーに参加する中で、女性活躍の意義や可能性を学び、社内の意識改革と環境整備に取り組んできました。

その取り組みの一環として、12月には財団の出張講師派遣事業に当社の女性社員が講師として登壇し、キャリア支援講座を担当する予定です。昨年まで2名だった女性社員は現在4名となり、来年には初の新卒女性技術者の採用も予定しています。

女性の視点や感性が加わったことで、職場の雰囲気がより活気づき、業務の進め方にも新たな工夫が生まれています。

今後多くの企業がこの活動に関心を持ち、共に新潟を盛り上げてくださることを願っています。

各種セミナーのご案内

今後、財団で開催予定のセミナーを
ご紹介！ぜひご参加ください。



[会場] 新潟県女性センター 女性団体交流室2
[定員] 各回20人（先着順） [参加費] 各回 3,000円
[一時保育] 生後6ヵ月以上 定員:10人（先着順） 申込締切(必着)
保育協力金:子ども一人 200円 | 2月20日(金)

働く女性支援事業 働く女性情報交換・交流会

対象 | 育休取得予定の方/現在育休中/育休後職場復帰を控えている女性

会場開催 2/28 SAT 13:00 ~ 15:30 はなす・きく・つながる
育休ママのための情報交換と交流会
講師 | 高橋 瑞穂 さん (株エム・エスオフィス所属)

対象 | テーマに関心のある未婚女性

会場開催 3/8 SUN 13:30 ~ 15:30 未来を軽やかに生きるための
セルフマネジメント&未婚女性のための交流会
講師 | 山中 智香 さん (ウイズ・グロー 代表)

【編集後記】

11月22日は「いい夫婦」の日でした。時代の変遷と共に「いい夫婦」像も少しずつ変化していくのでしょうか。令和の「いい夫婦」は、きっと、お互いをいたわり合い、助け合って、仕事・家庭・子育てと一緒にを行い、楽しく暮らせる関係なのだと思います。こうした夫婦が増えるには、男性も女性も企業も社会も変わっていく必要があります。

財団ではこれからも、誰もがいきいきと過ごせる社会の実現を目指して頑張っていきます。(Ryu)

- 電話 025-285-6610
- fax 025-285-6630
- メール npwf@npwf.jp
- ホームページ <https://npwf.jp>
- Facebook 新潟県女性財団
- X (Twitter) @npwfniigata